

平成 2 8 年度 学術振興基金助成による成果報告書

平成 2 9 年 1 月 2 0 日

学 長 殿

所属部局・職名 行政政策学類・准教授

申 請 者 名 丹波 史紀

助成事業の区分 (該当するものに○印)	㊟ 研究協力に関する事業 (学術出版・叢書・学会等運営・学会参加) 学術振興に関する事業 (学生・事務職員・その他の特別事業)
事業名	研究協力に関する事業(学会等運営助成) 助成事業: 貧困研究会第 9 回研究大会
事業実施期間	平成 2 8 年 1 0 月 ~ 平成 2 8 年 1 2 月
成果の概要	<p>貧困研究会第 9 回研究大会をコラッセふくしま等(福島市)において 1 2 月 3 日・4 日の両日にわたって開催した。</p> <p>1 日目のシンポジウムでは、「共通論題: 生活再建と貧困・復興格差」とするテーマで催し、「原発事故賠償からみる福島復興の課題」除本理史(大阪市立大学)・「県外避難者支援」佐藤宏美(ふくしま連携復興センター)・「生業(なりわい)裁判」渡邊純(けやき法律事務所・弁護士)などが報告しディスカッションを行った。</p> <p>2 日目は、午前中分科会・自由論題報告を行った。午後はバスで南相馬市や浪江町などの被災地のエクスカージョンを実施した。</p> <p>参加は、のべ約 1 0 0 名参加した。</p> <p>学術振興基金において、下記の費用を使用した。</p> <p>1) 2 日目エクスカージョンバス借上費用 77,600 円</p> <p>2) 会場使用料 36,720 円</p> <p>3) エクスカージョン講師謝金 25,000 円</p> <p>計 139,480 円</p>